

# 七月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九三二  
浄土真宗 西福寺  
本願寺派  
TEL 072-62213725 FAX 072-6221379

突然の雨に草木も息を吹き返しました。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十九年七月のご案内を申し上げます。

第二百六十五回

## 人生講座

日時 七月 九日(日) 昼二時〜四時  
講師 本願寺派布教使

福間 玄 猷 師



■福間(ふくま)先生、四十五歳。広島県三次(みよし)市、源光寺住職。二十一年前、縁あって当山より入寺しました。平成二十三年に継職法要が厳修され、源光寺様の法灯を継承されました。お話が分かりやすく聞きやすいと好評です。

■夏の日差しが容赦なく降りそそぐ昼下がり。冷房の効いた本堂でイスに腰かけ、仏さまのお話を聞いてみませんか？

### ●北御堂の納骨について

親鸞聖人を宗祖と仰ぎ、浄土真宗のみ教えを受け継ぎ、お念仏のみ教えをお伝えくださいましたご先祖様に思いを馳せ、子々孫々まで永く伝えると共に、本願寺津村別院(北御堂)参詣を機縁に、念仏生活にいそしまれることを念願し、北御堂納骨所を設置いたしました。

津村別院(北御堂)の納骨には納骨壇納骨、永久納骨があります。又、一時的にお預かりをする遺骨保管所もございます。納骨の手続き方法もそれぞれ異なりますので、あなたに合った納骨をお選び頂くことができます。

▼本願寺津村別院【北御堂】大阪市中央区本町4-1-3

Tel 06-6261-6796

\* \* \*



毎月28日、昼2時OPEN! ぶっぶカフェ

お盆のお参りは、お早めに。

南無阿弥陀仏をとらふれば

観音・勢至はもろともに

恒沙塵数の菩薩と

かげのごとくに身にそえり

「先祖方を偲びつつ、「お陰さま」と感謝の気持ちで、お迎えください。

ご家族お揃いでお参りしていただきたく、なるべくご希望に添えるようにいたしますが、お時間の指定まではご遠慮下さい。当日の天候や道路事情によりお約束の時間より前後する場合があります。

また、初盆をお迎えになる方を

優先させていただきます。

何卒ご理解とご協力のほど、

よろしくお願い申し上げます。

電話：072-62213725



### 浄土和讃に聞く ①

◆弥陀成仏のこのかたは

いまに十劫をへたまへり

法身の光輪きはもなく

世の盲冥をてらすなり

『浄土和讃』(註釈版557頁)

「群盲象を評す」という成句があります。たくさんの盲人に大象を示して、象の鼻・耳・身体・足・背・尾などをさわらせて、象とはどんなものかを批評させると、それぞれ自分がさわって知ったことだけで判断して、象はこれこれであると主張してゆずらなかつたという。真理を全体としてとらえず、部分的にみて自説の完全性を主張することのたとえ(岩波仏教辞典)です。

象を理解するため、どれほど細部を精密に分析しても、象そのものを理解したことにはならないから、どれほど言葉を尽くしても、象の真実を言い表すことは出来ない。万に一つ、言い表せたとしても、相手もまた、その一面しか理解できない。

もどかしさの中で孤独を募らせ、孤独は、いつしか怒りや憎しみへと姿を変えていきます。信じていたものに裏切られたように感じ、完膚なきまでに互いを傷つけ合ってしまう。真実に暗い人間の悲しみを知らされた時、それでも、一筋の光の確かな温もりに気づける人は幸せです。その光は、ここを去ること西の彼方、十億の国土の果てにおわします。阿弥陀仏から発せられ、ありとあらゆる世界に届きます。その光を浴びて、真実は真実のまま真実として光り輝き、偽りは偽りとして色あせて見えます。まことの眼差しを得ることを人生の目標に定め、生涯をかけて阿弥陀仏に礼拝してまいりましょう。

「阿弥陀仏は、はるか遠い昔に成仏された。その寿命は限りなく、はかり知ることができない。さどりの身から放たれる光は、すべての世界に満ちみちて、迷いの闇にいるものを照らし続けている」

# 八月のご案内

〒567-0012  
 茨木市東太田二丁目九一二一  
 浄土真宗 西福寺  
 本願寺派  
 TEL073-533-3750 FAX073-533-3750

自他一如、怨親平等の絶対の真実は、南無阿弥陀仏という名となつて、衆生にみずから知らしめていくと良き人の仰せです。皆様には如何お過ごしでしょうか。  
 平成二十九年八月のご案内を申し上げます。

## 盂蘭盆会

日時 八月十五日（火）夜七時〜九時  
 講師 当院住職自動



■「お盆は、『盂蘭盆経』の説話による行事です。わが子への愛ゆえに餓鬼道（がきどう）に堕ちた母。その母の境涯を知り、苦悩する目連尊者（もくれんそんじゃ）。じゅんじゅんと救済の法を説かれるお釈迦さま（菅純和著『仏事の小箱』）。親の恩に思いをいたし、どうぞご家族皆さままでお参り下さい。「おみおくりの作法（2013年・イギリス・イタリア）」上映予定。

### ●お盆のお参りについて

「正信念仏偈」と下記の「四句念仏・回向」そして「ご文章」をお勤めいたします。どうぞ、有縁の方々と一緒に参り下さい。  
 「正信念仏偈」は、「十二礼（じゅうにらい）」の節でお勤めいたします。「行譜」・「草譜」でのお勤めの際は、「善導独明佛正意」で調声人が独唱いたしますが、この場合は、そのまま続けてともに唱和いたします。なお、人生講座はお休みです。

\* \* \*

### 西福寺歓喜会（かんぎえ）

平素より宗門ならびに当山西福寺の護持発展のため、格別のご配慮を賜わり有難く厚く御礼申し上げます。

さて、下記の通り8月13日、「歓喜会」をお勤めいたします。つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、当日各世帯代表者1名のご参拝をお願い申し上げます。今後ともご理解ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

#### 記

- 一、日時 8月13日（日）午後6時〜
  - 二、会所 西福寺本堂
  - 三、持物 聖典・念珠・式章（持参ください）。
- ※西福寺上野門徒のみ。

毎月28日、昼2時OPEN!ぶっぶカフェ

### 念佛 律曲 平調

南无阿彌陀佛

南无観世音菩薩

南无大勢至菩薩

南无清浄大海

衆菩薩

回向

平等施一切

願以此功德

往生安樂國

同發菩提心

同證無上道

石川欣也先生の法話のダイヤル 0743-53-4488

## 福岡教区九州北部豪雨災害

九州北部豪雨におきまして、大分県・熊本県・佐賀県をまたぎ甚大な被害がありました。災害に遭われました皆さまに対して、心よりお見舞い申し上げます。

浄土真宗本願寺派福岡教区では、7月7日に災害対策委員会本部を設置し、現在、福岡教区内の現状把握並びにその対応につとめております。

見舞金・義援金の受け入れ先については、左記口座を開設しております。今後は災害の復興に向け多くの時間が必要とされることが予想されますので、ご支援ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

合掌

■口座情報  
 福岡銀行 黒門（くろもん）支店  
 普通預金 1278730  
 名義 災害対策費  
 代表 菊池慈峰（きくちじほう）





# 九月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九一二  
浄土真宗 西福寺  
本願寺派  
TEL 073-533-5575 FAX 073-533-5575

入道雲のはるか上を秋の雲が涼やかにたなびいています。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十九年九月のご案内を申し上げます。

第二百六十六回

## 人生講座

日時 九月 十日(日) 昼二時〜四時  
講師 本願寺派布教使・国際講社「響流」 講長

### 山本泉茂 師

■山本(やまもと)先生、五十歳。京都府八幡市、願生寺住職。映画「ロッキー」や「ランボー」のS・スタローンを彷彿とさせる端正な容姿は、さながら求道の凄まじさを表しています。十六歳で得度をされ、願生寺を建立されるまでの道のりの厳しきは、筆舌に尽くしがたいものがあります。それらを、お念仏に促されて乗り越えてこられました。

### ●るんにに苑参与会発会式

この度、京都市の相国寺派管長・有馬頼底師、清水寺管主・森清範師、永観堂禅林寺法主・中西玄禮師が発起人となって「るんにに苑」に「参与会」を結成、左記の通り「発会式」を挙げて下さることとなりました。

- 日 時：平成29年9月20日(水) 16時〜
  - 会 場：ホテルグランビア京都 (JR京都駅直結)
  - 費：15,000円
  - 申込：8月末日まで
- ※中央改札口より正面右側エスカレーターを上がり、2階ロビーへお越しください。

※問い合わせ先：るんにに苑「参与会」準備室 0773-46-0543

## 彼岸会コンサート

清風宝樹をふくときは  
いつつの音声いだしつづ  
宮商和して自然なり  
清浄勲を礼すべし

西福寺仏教婦人会9月の例会は、彼岸会(ひがんえ)コンサートです。孤高の箏(こと)演奏家・杉浦充さんと二胡(にこ)奏者の中村ゆみこさんをお迎えします。前回、台風接近のためやむなく中止しました。一年越しでご来山いただけます。当会員の方に限らず、どなたでもお参りいただけます。運営協力金として千円、ご負担ください。「佛説阿弥陀経」のお勤め後、ご鑑賞いただけます。

日時：9月20日(水) 午後2時〜3時半  
場所：西福寺本堂

毎月28日、昼2時OPEN!ぶっぶカフェ

## 浄土和讃に聞く ②

### ◆智慧の光明はかりなし

有量の諸相ことごとく  
光暁かぶらぬものなし  
真実明に帰命せよ

『浄土和讃』(註釈版557頁)

「世間虚仮、唯仏是真」は、聖徳太子の言葉として伝えられています。仏教興隆に尽力し、推古天皇を助けて、冠位十二階や「憲法十七条」を制定し、遣隋使を派遣するなど、古代日本において多大な功績を残されました。聖徳太子を和国の教主と仰がれた親鸞聖人も、同様に「煩惱具足の凡夫、火宅無常の世界は、よろずのこと、みなもって、そらごとたわごと、まことあることなきに、ただ念仏のみぞまことにておわします」と仰せられました。親鸞聖人は「真実明」を「阿弥陀如来なり」と左訓され、真実について「真といひはいつわりへつらわぬを真という。実といひは必ずもののみとなるをいうなり」と仰せになっています。

国家・人民のためにどれほど優れた政治を行おうとしても真意が伝わらず、思いもかけない所で人の怒りや恨みを買ってしまう。同じ志を持った仲間だと信じていた人が、およそ考えもしないことをでっち上げ、貶めようと画策している。挙げ句の果てに、太子の没後、一族全員が惨殺されてしまう。そのことを知る由もなかったとはいえ、一族を取り巻く不穏な空気に心を痛めていたに違いありません。世間は、嘘いつわりに満ち、真実なるものは何もない。太子の悲痛なまでの叫びは、そのまま仏教への深い帰依に繋がります。580年後、太子は救世菩薩として京都・六角堂に現前し、比叡山の修行僧であった親鸞聖人を本願念仏の道に導くことになるのでした。

▼阿弥陀仏の智慧の光明は限りがない。迷いの世界のもので、その光に照らされないものはない。真実の智慧の光である真実明に帰命するがよい。

# 十月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九-三二  
 浄土真宗 本願寺派 西福寺  
 TEL 072-6222-3725 FAX 072-6222-3725

一雨ごとに秋が深まってゆきます。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十九年十月のご案内を申し上げます。

## 報恩講法要厳修

ほう おん こう ほう よう こん しゅう

日時 十月十四日(土) 昼二時・夜七時  
 十五日(日) 朝十時

講師 本願寺派布教使・社会福祉法人至心会理事長

### 野村康治師

■報恩講は、宗祖親鸞聖人のご苦勞をしのび、そのご苦勞を通じて、阿弥陀如来のお救いをいただくことをあらためて心に深く味わわせていただく法要です。私たちにとってのもっとも大切なご法縁といえます。(本願寺ホームページより)  
 ■お誘い合わせの上、ご参拝下さい。

### ●報恩講の準備にご協力下さい

毎回、世話役の方々が中心となって準備して下さいますが、どなたでもお手伝いいただけます。お手すきの門信徒の皆さま、ご協力のほどよろしく願います。

10月10日(火) 午後7時〜於西福寺本堂 おみがき(仏具を磨きます)  
 10月13日(金) 午後7時〜於西福寺本堂 おかざり(供物をそなえつけます)

\*詳細は住職までお尋ね下さい。TEL 072-6222-3725

### 親鸞聖人を思ふ報恩講

10月14日(土) 夜7時からの初夜法要では、「奉讃大師作法(ほうざんだいしさほう)」が勤められます。「るんびに太鼓」のメンバーによる雅楽演奏の中、諸僧入堂。正信偈のお勤め後、諸僧は立ち上がり念仏と共に散華、色とりどりの花が舞います。回向句がとなえられ、諸僧退出。法要は終わります。

お勤めの後「親鸞聖人物語」のビデオ鑑賞。10センチ足らずのかわいらしい紙粘土人形が生き生きと親鸞聖人のご生涯を描き出します。引き続き、野村先生の心温まるご法話を聴聞いたします。

毎月28日、昼2時OPEN!ぶつぷカフェ



石川欣也先生の法話のダイヤル0743-53-4488

### 念仏奉仕団募集

ほんざん うつく 本山を美しく。

本山での清掃奉仕を通し、愛山護法の念を深める機会として、本年も「茨木東組念仏奉仕団」を募集いたします。門信徒の皆さまのご参加をお待ちしております。



日時：12月19日(火)〜20日(水) 1泊2日

※20日、御煤払(おすすはらい)。一年間にたまった両堂のほこりを門信徒らの協力によって払い出す行事。

費用：15,000円

(帰敬式ご希望の方は25,000円)

締切：10月31日(火)

集合：安穩殿(旧称参拝会館) 2階・12時50分  
 宿泊場所：京都東急ホテル  
 ※お申し込み・お問い合わせは西福寺まで。

(電話 072-6222-3725)

#### 【持ち物】

聖典・念珠・門徒式章・健康保険証・雑巾  
 1枚・筆記具・雨具・洗面具等  
 清掃奉仕できる服装(エプロン・軍手・作業服等)





# 十一月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九一二  
TEL 0726-3375 FAX 0726-3375  
本願寺派 西福寺

晴れることのない厚い雲の向こうに光輝く太陽を強く欲する今年の秋です。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十九年十一月のご案内を申し上げます。

◎人生講座はお休みです。各寺院の報恩講にお参り下さい。

- 称名寺(総持寺) 10月21日 14時 / 22日 10時
  - 安楽寺(太田) 10月28日 13時半 / 29日 13時半
  - 本照寺(富田) 11月1日 14時 / 2日 14時
  - 称念寺(高田) 11月4日 13時半 / 5日 13時半
  - 光明寺(総持寺) 11月9日 14時・19時
  - 万徳寺(氷室) 11月11日 14時 / 12日 14時
  - 常見寺(五百住) 11月11日 10時・13時半
  - 常称寺(総持寺) 11月24日 14時 / 25日 14時
  - 顕証寺(八尾) 11月26日 / 27日 / 28日
- \*万徳寺様では11日、報恩講。12日、住職継職奉告法要がご修行になります。

## ●西福寺玄関横トイレ増設工事

当山本堂には、男性用小便器2基、和式大便器1基の男女兼用トイレが設置されています。かねてより、特に女性の方々のご使用にあたっては何かとご不便をおかけしているものと認識しており、心を痛めておりました。

この度、玄関横の倉庫を女性専用トイレとして改装いたしました。職の意を汲んでいただいた門徒総代の太田晃様、西村満雄様、上野門徒会の皆さまより御懇念を賜りました。ここに報告申し上げますとともに、ご厚志に深く感謝申し上げます。

年内の完成を目指して、今後工事に入らせていただきます。工事期間中は、周辺住民の皆さまに多大なご迷惑をお掛けすることと存じます。施工業者には安全第一を強く申し入れたいしておりますので、皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願ひし申しあげます。

二〇二七(平成二十九)年度 本願寺津村別院 親鸞聖人 報恩講

## 報恩講

法要期間  
11月11日[土] 13:30~17:00  
11月16日[木] 13:30~17:00  
御親修  
15日[水] 13:30~17:00  
16日[木] 13:30~17:00

先般、当山報恩講では多数ご参拝いただき誠に有難うございました。堂内では、毎座お同行の皆さまの唱える正信偈の声に満ち、ご講師の野村先生からは、力強くも温かいご法話をお聞かせいただき、法味あふれる2日間となりました。

大阪本町、本願寺津村別院でも11月11日より報恩講が勤められます。日中法要は朝10時から、速夜法要は昼1時半からです。15日速夜、16日日中は、ご門主様によるご親修法要となります。

なお、13日速夜までは西原祐治師(千葉)、14日からは浅田恵真師(大阪)による報恩講法話が行われます。

御堂筋の銀杏色づくこの季節、有縁の皆さま、どうぞご参拝ください。

毎月28日、昼2時OPEN!ぶつぷカフェ

## 浄土和讃に聞く ③

◆解脱の光輪きはもなし  
光触かぶるものはみな  
有無をはなるとのべたまふ  
平等覚に帰命せよ

『浄土和讃』(註釈版557頁)

青木新門氏の『それからの納棺夫日記(法蔵館)』から引用します。「人は死んだらどうなるのかという問題にからんで、死後の世界は有るのか無いのかということが常に問題になる。(中略)仏教では死後の世界があると思う人の見解を「有見」と言い、無いと思う人の見解を「無見」と言う。そして、死について「体験しなければわからないのに、最も卑俗なものと結びつけてわかったような顔をして見せる」と、世の知識人をはじめ「死んだら無に帰す」と考える人々を痛烈に批判しています。さらに「死後の世界を無とした時、人は死んだら何も無くなるのなら生きていこうと花だと、欲望と快楽に走る」と、現代社会の風潮にも言及しています。一方で、靈魂を信じ、輪廻転生や来世を信じることもまた誤りなのではないか。「有見の人も無見の人も、後の世があるのか無いのか思っているのは自分であることに気づいていない。有ると執着するのも自我、無いと執着するのも自我、ということに気づかなければならない」。

阿弥陀仏の光に触れたものは、我執(自我)を打ち砕かれ、悟りをひらき仏となります。そこから見える世界は、自他一如、生死一如、怨親平等という、一切の違いを越えた絶対平等の光の世界。振り返って、そうはならない世界の原因を知らされた私たちは、一切の違いに煩わされることなく、いのちそのものの輝きに目を向けていきたいものです。

▼阿弥陀仏のさとり光はどこまでも果てしなく照らす。その光のはたらきを受けるものは、みな有無の邪見を離れるといわれている。すべてのとらわれを離れさせる平等覚に帰命するがよい。

いしかわきんや 石川欣也先生の 法話のダイヤル0743-53-4488

# 十二月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九三二  
浄土真宗 本願寺派 西福寺  
TEL072-6222-3725 FAX072-6222-3725

夜明け前、白い息をはずませながら、塵あくたを掃き清めま  
す。  
皆様には如何お過ごしでしょうか。  
平成二十九年十二月のご案内を申し上げます。  
第二百六十七回

## 人生講座

日時 十二月 十日(日) 昼二時〜四時  
講師 本願寺派布教使

高島 幸博 師



■高島(たかしま)先生、三十六歳。茨木市沢良宜浜、専念  
寺衆徒。一般家庭に生まれ育ち、龍谷大学仏教学科入学が縁  
となって、大学卒業後就職するも、30才の時に得度し僧籍を  
取得。翌年、専念寺へ入寺。明るくまじめな人柄が、次期住  
職としてご門徒のみならず宗門の期待を集めています。

■お誘いあわせの上、ごぞつてお参り下さい。

## ●本山成人式のご案内

新成人の皆さん、おめでとうございます。

本願寺では、1月14日(日)に皆さんが新成人となられたご縁として、親鸞聖人のみ教えに出遭って  
いただきたいとの願いのもと、「本山成人式」を開催いたします。

●日 時…2018年1月14日(日)

●会 場…本願寺阿弥陀堂(京都市下京区堀川通花屋町下ル)

●参加対象…1997年4月2日から1998年4月1日までの間に生まれた新成人の方

●参加費…無料(※帰敬式受式希望者は冥加金3,000円が必要です)

●応募方法…所定の申込用紙に必要事項を明記の上、寺院活動支援部へ組織教化担当内「本山成人式」係  
までお申し込みください。(電話 075-371-5181・FAX 075-351-1211)

●募集締切…2017年12月20日(水)

## 年末年始のお参りについて

誠に勝手ながら左記の通り、年末年  
始は、お逮夜参りをお休みいたしま  
す。

この期間内に月命日を迎えられる  
方は、12月30日までのご都合の良い  
日をご連絡いただければ、お伺いいた  
します。もしくは、来年1月1日昼1  
時より勤まる元旦会にご参拝下さい。  
何卒、ご理解とご協力のほど、よろ  
しくお願い申し上げます。

年内…12月30日(土)まで  
新年…1月5日(金)から

\*葬儀など緊急の際は、ご遠慮なく  
まずお寺までご連絡下さい。

TEL 072-6222-3725

毎月28日、昼2時OPEN!ぶつぷカフェ

## 西福寺玄関横トイレ増設工事

先月の寺報でお知らせしておりました当山玄  
関横トイレ増設工事は、お蔭さまで無事終了し  
ました。平成十六年、住職に就任して以来、門  
信徒の皆さまにご協力いただきながら、椅子の  
導入、エアコンの設置、二重サッシの設置等、  
お聴聞しやすい環境を整えてまいりました。こ  
のたび、玄関横の倉庫を改装し、かねてより念  
願だった女性専用トイレを増設することができ  
ました。

左の写真の通り、清潔感あふれる広々とした  
トイレに仕上がっております。ご使用の際は、  
土足のままお入りください。これまで男女兼用  
でご利用いただいていたトイレは、今後、男性  
専用とさせていただきます。ご理解のほど、何  
卒よろしくお願い申し上げます。

なお、工事期間中は、周辺住民の皆さまに多  
大なご迷惑をお掛けいたしました。ご協力、誠  
に有難うございました。

西福寺住職 藤慶哉



いしかわきんや 石川欣也先生の 法話のダイヤル0743-53-4488